

《担当者名》永根 道史（非）

【概 要】

- ・特別支援学校(病弱)の教育において教育課程が有する意義を学ぶ。
- ・生徒の病気や障害の状態、特性及び心身の発達の段階等並びに特別支援学校(病弱)の教育実践に即した教育課程の編成の方法とカリキュラム・マネジメントの考え方を学ぶ。
- ・病気や障害の状態、特性及び心身の発達の段階等を踏まえた各教科等の指導における配慮事項を学ぶ。
- ・自立活動及び自立活動の指導と関連付けた具体的な授業場面を想定した授業設計を行う方法を学ぶ。

【学修目標】

- ・特別支援学校教育要領・学習指導要領を基準として特別支援学校(病弱)において編成される教育課程について、その意義や編成の方法を理解するとともに、カリキュラム・マネジメントについて理解する。
- ・病弱(身体虚弱を含む)の生徒の病気や障害の状態、特性及び心身の発達の段階等を踏まえた各教科等(「自立活動」を除く。)の指導における配慮事項について理解し、具体的な授業場面を想定した授業設計を行う方法を身に付ける。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	ガイダンス、病気や障害の状態等の把握について	授業の進め方、指導内容・方法、支援体制、施設・設備等を踏まえた、教育課程の編成とその意義	永根
2	病弱教育の歴史と意義について	特別支援学校(病弱)の目的と教育課程の編成、重複障害等に対応した教育課程の編成の必要性とその意義	永根
3	学びの場と教育形態について	教育課程の編成、重複障害等に対応した教育課程の必要性和教育課程が有する意義	永根
4	特別支援学校学習指導要領の概要、教育課程の編成について	教育課程の編成、各教科等の教育内容の選定と組織・必要な授業時数、カリキュラム・マネジメント	永根
5	自立活動の指導における指導計画の作成、指導内容・方法等について	個別の指導計画の作成と内容の取扱、教科と自立活動の目標設定に至る手順の違い	永根
6	病気の状態に応じた指導の工夫について	生徒の実態に応じて適切な指導を行う個別の指導計画の作成、適切な活動量や活動時間の設定、姿勢の変換や適切な休養の確保	永根
7	学校等における医療的ケアの概要について	病気や障害の状態、特性及び心身の発達の段階等を踏まえた、学習効果を高めるために必要となる医療的ケア	永根
8	病弱・身体虚弱教育における情報化の意義、ICT機器の活用等について	学習環境に応じた学習効果を高める間接体験や疑似体験、仮想体験	永根
9	学びの場における指導事例について	ICTの有効な活用や教材・教具・補助用具の工夫、学習指導案の作成と授業改善の視点、具体的な授業場面を想定した授業設計	永根
10	悪性新生物、筋ジストロフィー、ペルテス病等の概要と教育的支援について	病気等把握の具体的な観点、適切な活動量や活動時間の設定、姿勢の変換や適切な休養の確保	永根
11	糖尿病、喘息、アレルギー疾患、腎疾患、心臓病等の概要と教育的支援について	病気等把握の具体的な観点、適切な活動量、活動時間の設定、姿勢の変換や適切な休養の確保	永根
12	てんかん、心身症、重症心身障害等の概要と教育的支援について	病気等把握の具体的な観点、適切な活動量や活動時間の設定、姿勢の変換や適切な休養の確保	永根
13	キャリア教育と進路指導、職業教育について	関係機関との連携、間接体験や疑似体験、仮想体験等の授業場面を想定した授業設計、就業体験活動、関係者との協力	永根
14	教育と医療・福祉・労働等との連携、関係する医療・福祉制度について	福祉サービスと地域生活支援事業を踏まえた、授業場面を想定した授業設計	永根

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
15	病弱教育の現状と課題について	特別支援学校（病弱）、病弱児、家族が抱える復学支援の在り方等の問題点と課題を踏まえた、教育課程の編成の意義や編成の方法の理解	永根

【授業実施形態】

面接授業

※授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【アクティブ・ラーニング】

導入している

【評価方法】

- ・授業態度（小レポートとリアクションシート等から学修課題への取り組み方や習得すべき知識・理解の程度等を評価する）40%
- ・レポート（最終課題）60%

【教科書】

編著 全国特別支援学校病弱教育校長会 監修 深草瑞世 「病気の子どものための教育必携」2020年 ジアース教育新社 2020年1月

【参考書】

適宜推薦する。

文部科学省 「特別支援学校幼稚部教育要領 小学部・中学部学習指導要領」 平成29年4月告示 海文堂出版 平成30年3月
 文部科学省 「特別支援学校学習指導要領解説総則等編（幼稚部・小学部・中学部）」 開隆堂 平成30年3月
 文部科学省 「特別支援学校学習指導要領解説各教科等編（小学部・中学部）」 開隆堂 平成30年3月
 文部科学省 「特別支援学校学習指導要領解説自立活動編（幼稚部・小学部・中学部）」 開隆堂 平成30年3月
 文部科学省 「特別支援学校高等部学習指導要領」 平成31年2月告示 海文堂出版 令和元年8月
 文部科学省 「特別支援学校高等部学習指導要領等」 文部科学省ホームページ
 文部科学省 「特別支援学校高等部学習指導要領解説（1）」 文部科学省ホームページ
 文部科学省 「特別支援学校高等部学習指導要領解説（2）」 文部科学省ホームページ
 文部科学省 「特別支援学校高等部学習指導要領解説総則編（高等部）」 ジアース教育新社 平成31年2月
 特別支援学校学習指導要領解説 知的障害者教科等編（上・下）（高等部） 文部科学省ホームページ
 独立行政法人 国立特別支援教育総合研究所 「特別支援教育の基礎・基本 2020」 ジアース教育新社 2020年

【備考】

- ・適宜配布する資料等を精読し、授業内容及び学修課題等について理解を深めるようにすること。

【学修の準備】

- ・毎回の授業では、授業テーマについてまとめた受講者一人一人の小レポートを利用し受講者の私見を述べる機会を設けるため、事前学修で小レポートを作成し準備すること。（予習2時間）
- ・事後学修において、テキストや授業資料を参考に受講者間で共有した成果を各々の小レポートに整理し、授業テーマについて理解を深めること。（復習2時間）

【免許法施行規則に定める科目区分等】

「特別支援教育領域に関する科目」の「心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目」に該当する。
 中心となる領域：病弱者 含む領域：知的障害者

【実務経験】

特別支援学校教員及び校長

【実務経験を活かした教育内容】

特別支援学校教員及び校長としての実務経験を通じて得た知識・技術・態度等を活用し、実践的な教育を行う。